

J R 総連通信

レールウェイはヒューマンウェイ

参議院議員 田城 郁



2012年1月1日 1032

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

2012年迎春

安全で働きがいのある職場
人権・平和・民主主義
公正・公平な社会
実現へ向け、切り拓く！

武井委員長 年頭あいさつ



新年にあたり、組合員・ご家族の皆さんにご挨拶を申し上げます。

昨年3月11日に発生した大地震と大津波、そして原発事故は、日本社会を恐怖に陥れる未曾有の事態となりました。犠牲者の無念、被災者の恐怖、そして家族や友人を失った悲しみを想像すると、あまりにも残酷でなりません。

そして、福島第一原発事故は、収束せず日々深刻さを増し続けています。原発事故によって途方もない量の放射性物質が流出し、空を、海を、山を、川を、田畑を汚染し続けている現実は、間違いなく子どもや孫たちの未来を奪っています。

震災直後は、仲間の安否確認や被害状況の把握に昼夜を問わず奮闘し、そして食料をはじめとする生活物資が不足する中で、全国各地からの支援物資の確保と輸送、さらには復旧支援のボランティアなど、全組織をあげての取り組みを展開していただきました。まさにヒューマンイズム溢れる活動であったと敬意を表します。

また、田城郁参議院議員は、震災直後から現地に入り、被災状況の把握や被災者の声に耳を傾け、民主党や政府に対して提言するなど、JR総連と連携して奮闘しており、組織の誇りです。私たちは、生命と環境を守り、子どもたちが安心して暮らせる社会を創造するために、「脱原発」の運動を大きく前進させなければなりません。復旧・復興に向けて、地域と連帯して奮闘していきましょう。

「えん罪・JR浦和電区事件」は正念場です。最高裁において口頭弁論を開廷させ、公正・公平な裁判を求める「要請行動」は210回を超えています。今年こそ無罪を勝ち取り、労働組合の団結権を守るために不退転の決意で奮闘しましょう。

政権交代から2年4ヶ月が経過し、「官僚主導から政治主導へ」「国民生活第一」というマニフェストの実現は困難を余儀なくされています。加えて、今年は「税と社会保障改革」や「TPP（環太平洋連携協定）問題」「エネルギー政策問題」、そして「武器輸出三原則の見直し問題」など、私たちの生活に大きな影響を与える課題が山積しています。私たちJR総連は、「労働者の生活第一」という初志貫徹の気概をもって奮闘しようではありませんか。

安全で働きがいのある職場の実現！ 人権・平和・民主主義の確立！ そして公正・公平な社会の実現を自らの手で切り開きましょう！

2012年1月1日

全日本鉄道労働組合総連合会

執行委員長

武井政治